

# SDGsとDXソリューション ECM, CPQの活用について

## Cincom **DX** Solutions for **SDGs**



シンコム・システムズ・ジャパン株式会社

平成30年2月23日

# INDEX

**1. 自己と会社紹介**

**2. Society 5.0 for SDGs by 経団連：中西会長**

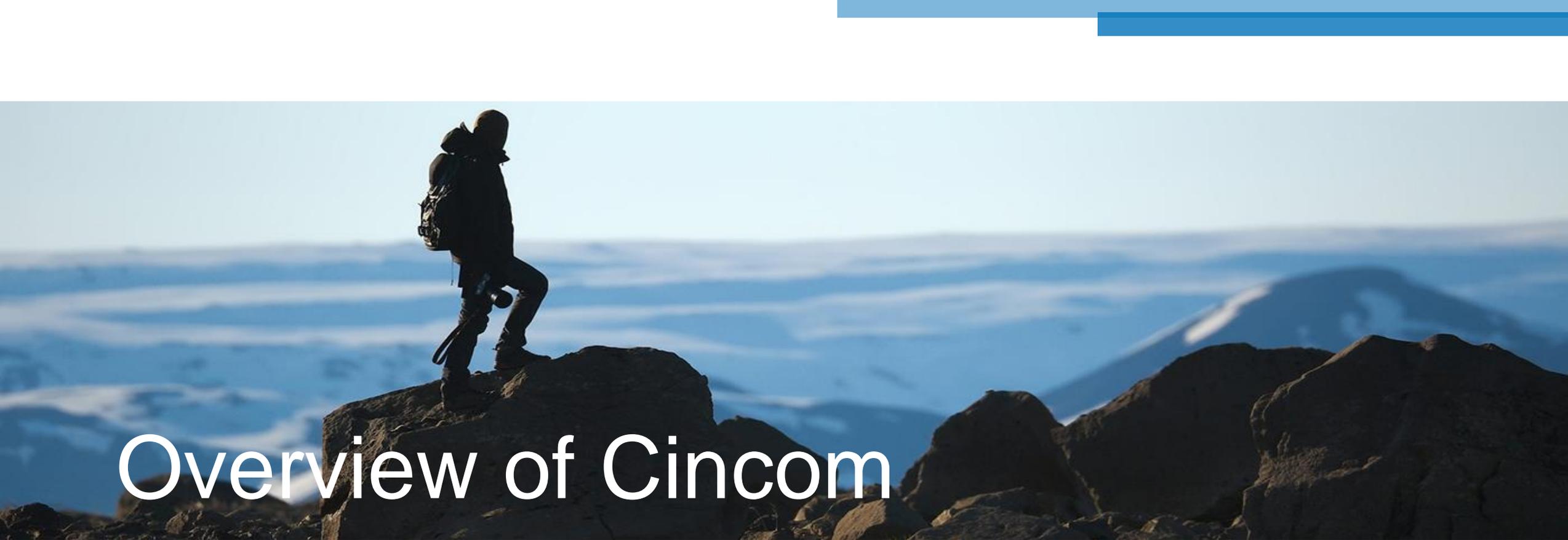
**3. Society5.0とは？**

**4. DX化を阻む「2025年の崖」とは？**

**5. Cincom DX Solutionのご紹介**

① Cincom CPQ

② Cincom ECM



# Overview of Cincom

- シンコム本社の概要
- 創業から現在までの50年間の製品開発とビジネスタイムライン
- シンコム日本法人について

# 企業概要：当社のソリューションは1000社を超える優良企業で採用



**創業以来のプライベート企業**

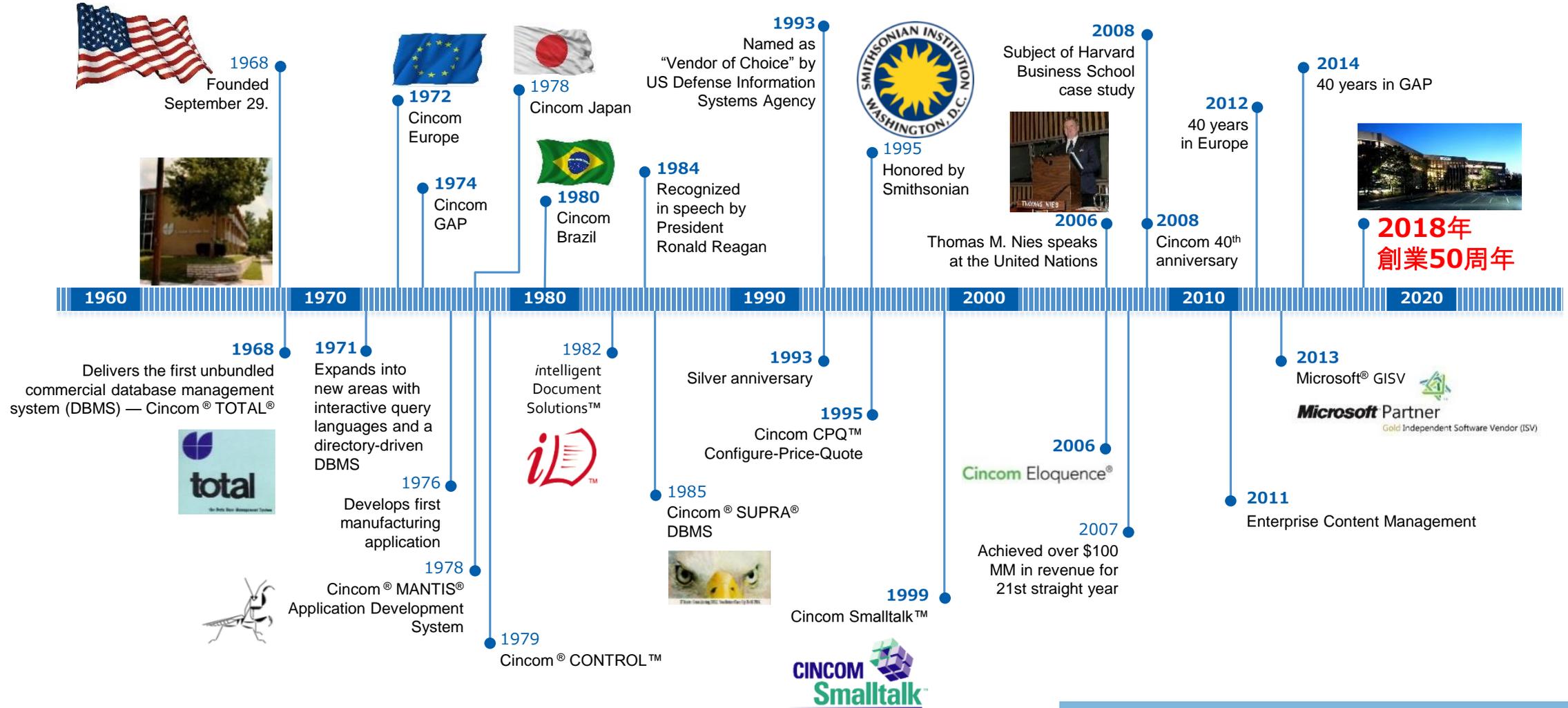
**少数精鋭のエキスパート集団**

**世界14カ国に拠点を保有**

**1000社を超える優良企業の顧客ベース**

**創業以来の黒字・無借金経営**

# Cincom 50年の歴史：米国で最古参のソフトウェアベンダー



# 会社の概要

- 日本法人は1976年創業、42年の経営実績
- 資本金：1億円 代表取締役：石村 弘子
- 上場企業を中心に約400社の顧客ベース
- 創業時はメインフレーム向け製品を中心に販売
- 各種パッケージ製品（最近10年）
  - CHS（特定保健指導システム）開始（2008年4月）
  - Cincom ECMの販売開始（2012年6月）
  - Cincom CPQの販売開始（2017年3月）



**S D G s とは**

# 持続可能な開発目標（SDGs）の概要

**持続可能な開発目標（SDGs）**とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものです。

近年、日本国内の企業でもその事業目標にも掲げている事案が多く見られている。



【岡山大学のHPからの引用】 <https://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/okayama-sdgs.html>

# SDGs と企業経営（インタビュー記事引用）

## 【SDGsは企業を変える宝の山】

SDGsという世界共通の課題に答えやサービスを探ることで、ビジネスが生まれます。成長のきっかけにもなります。それから自分たちの会社はこういう社会的価値に向き合っていると世の中に訴えることは、ブランディングにつながります。ブランドカや企業イメージが向上するわけです。

さらに企業の内側の人たちには、自分たちはこういう価値のために仕事をしているのだという、気持ちのまとまりが生まれます。経営者の立場からみると、働いている人のマインドを統合することはとても重要なことです。

## 【中小企業とSDGs】

一番わかりやすいのは、サプライチェーンです。大手のグローバル企業は、サプライチェーンまで含めて全部責任を持つのがいまの世界の動きです。かかわりのある中小企業は、相当な数になります。グローバルな展開の中に、ビジネスチャンスを見つけていこうとする場合は、SDGsに取り組みないと入っていけなくなりつつあるのです。

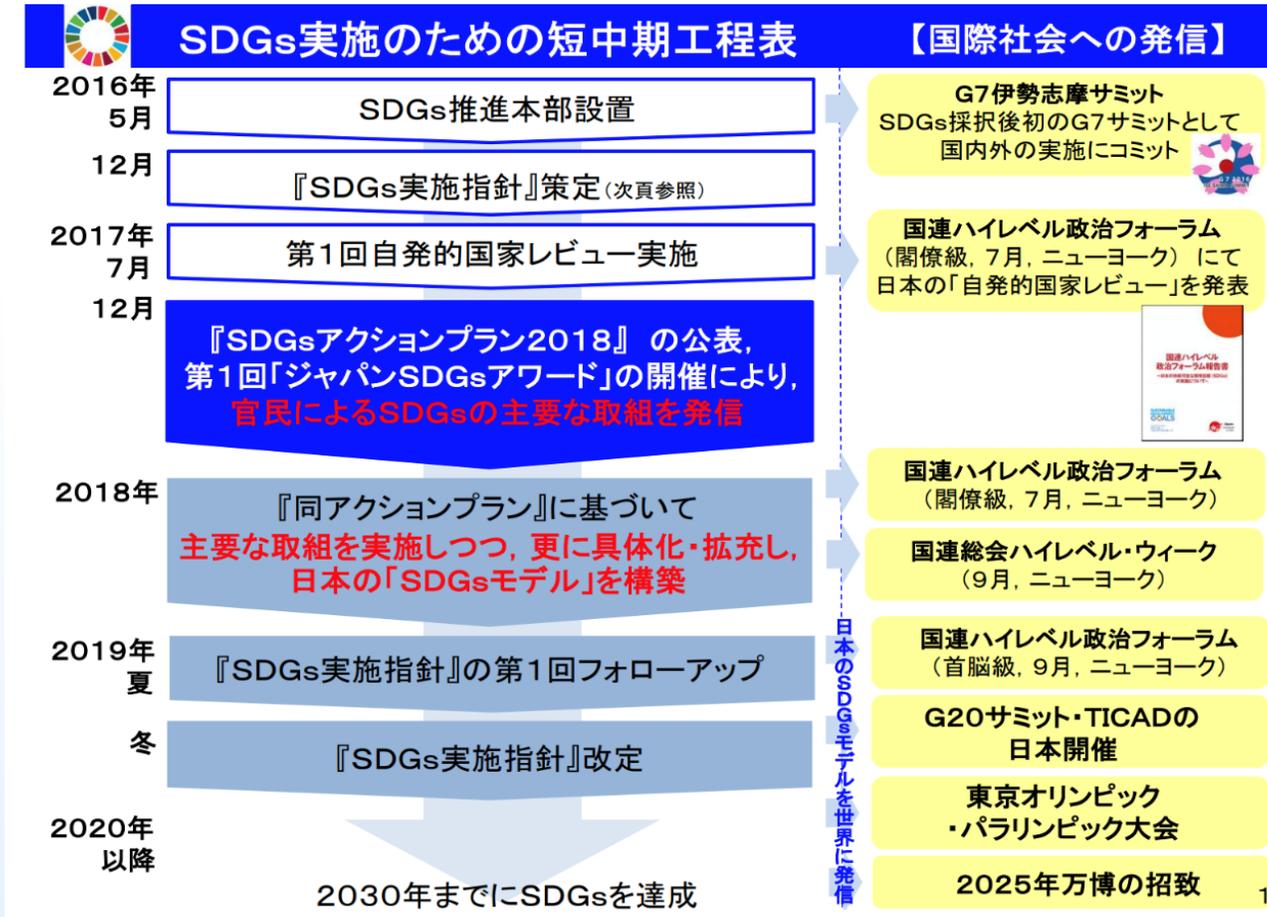
### 【朝日新聞記事引用】

富士ゼロックスの社長だった有馬利男さんは、世界の企業が持続可能な経済成長に取り組む「国連グローバルコンパクト」（UNGC）のボードメンバー。この活動を日本国内で広めるグローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンでは代表理事を務めている。SDGsは「企業経営の宝の山」と話す有馬さんに、キャスターの国谷裕子さんが聞いた。

2017年4月Ⅲ日

<https://miraimedia.asahi.com/>

# 内閣府が公開している「SDGs アクションプラン」



(出典：[内閣府Webサイト](#))

## 2. 「Society 5.0 for SDGs」の実現に向けて

### 2019年1月1日に発信されたこの経団連会長のメッセージとは・・・

昨年11月に提言「Society 5.0 ―ともに創造する未来―」を公表し、産学官が知恵を出し合い、連携を強化して人間中心の新たな社会を創造しようという提案であり、これを経団連の行動宣言であるとしていました。

なお、その中核となるコンセプト「Society 5.0」についての説明はここでは割愛しますが、雇用の喪失やデータの囲い込みによる格差の拡大、プライバシーのない監視社会の到来など、デジタル化による暗い未来を予想し、これを懸念する声もあるが、IoTやAIの活用により、人が単純作業から解放される時代だからこそ、人が人ならではの創造性を発揮し、最先端技術を使って新しい未来社会を創造していくことが可能になるとしています。

今年は、①「Society 5.0 for SDGs」を中心とする成長戦略の強化を中心に、この不確実な時代を乗り越え、新しい時代を果敢に切り拓いていくというメッセージを発信しました。

# Society 5.0 for **SDGs**

Society 5.0は「課題解決」と「未来創造」の視点を兼ね備えた新たな成長モデル  
さらには、国連で掲げられたSDGsの達成にも大いに貢献するもの

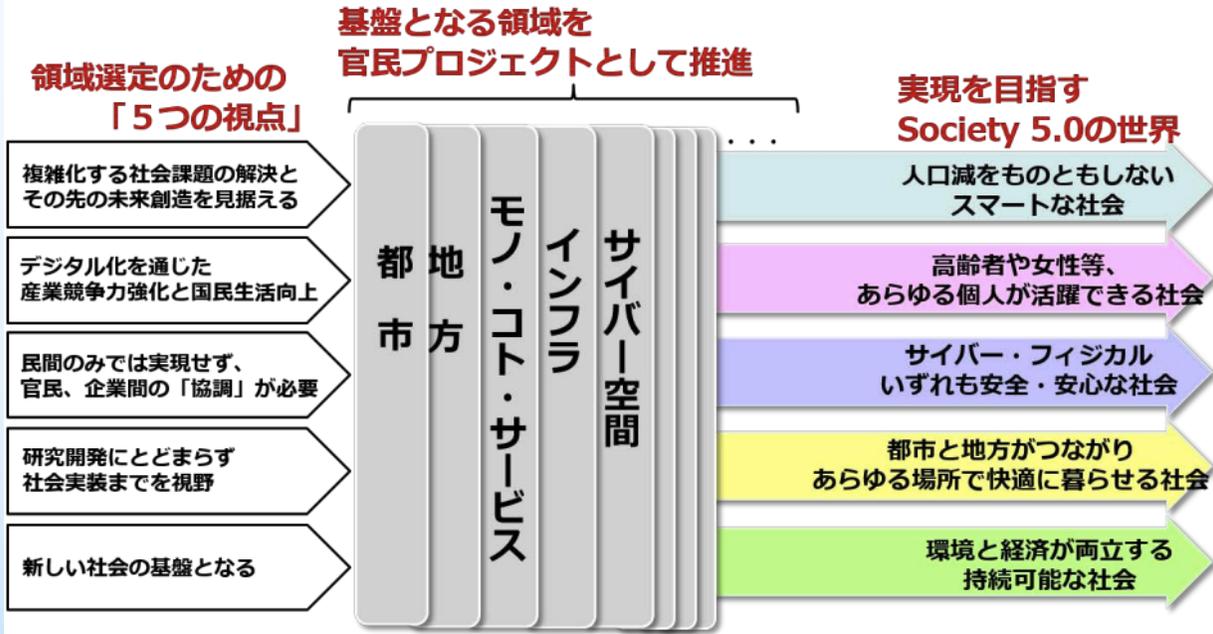


# 3. Society 5.0 の実現のイメージ

対象になるのは、「課題解決」と「未来創造」であるが、**足元のIT課題はどうするのか？**

実現に向けた行動計画 - 官民プロジェクトの実行 - Keidanren  
Policy & Action

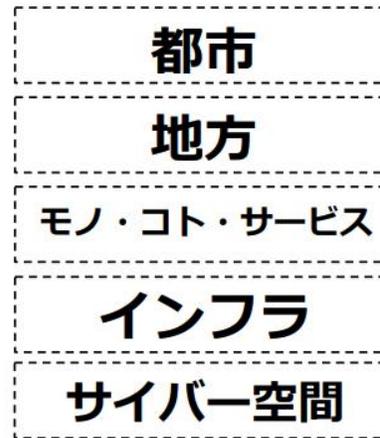
新たな成長戦略としてSociety 5.0を実現するための  
基盤となる領域を「Society 5.0実現官民プロジェクト」として実行



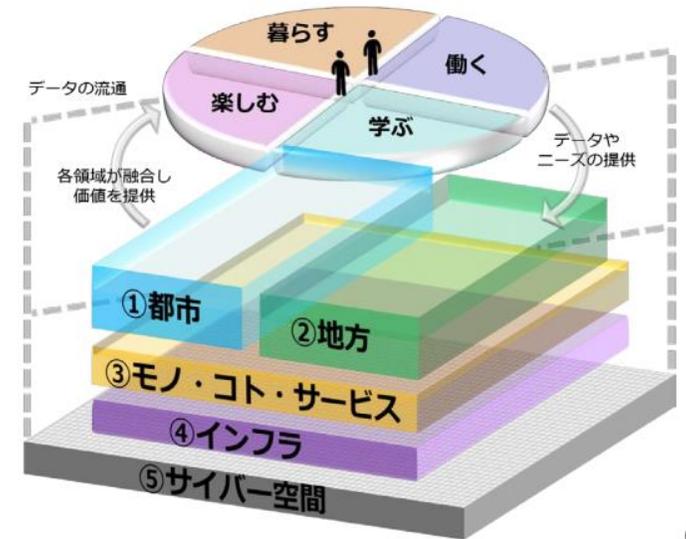
実現に向けた行動計画 - 官民プロジェクトの実行 - Keidanren  
Policy & Action

「都市」「地方」「インフラ」「モノ・コト・サービス」「サイバー空間」を  
最優先で取り組むべき領域として設定し、具体的な行動計画を検討

5つの領域を設定し、検討



サイバー空間を通じ、あらゆる領域をつなげ、  
豊かで活力ある生活を実現する



A hiker in silhouette stands on a rocky peak, looking out over a vast, blue, hazy landscape. A yellow thought bubble is positioned to the right of the hiker, containing Japanese text. The scene is set against a clear blue sky.

**Society5.0の前に  
この崖が問題だ！**

**Beyond CRIFF 2025**

# 「2025年の崖（がけ）」とは？

**2025年の崖とは既存のITシステムの老朽化や複雑化、ブラックボックス化等により・・・**

- ① データが十分に活用されず、データの利活用・連携が限定的となっていること
- ② 既存システムの維持、保守に資金や人材が割かれ、新たなデジタル技術を活用するIT投資にリソースを振り向けることができないこと
- ③ 既存のITシステムとビジネス・プロセスに密結合していること
- ④ SAP ERPサポート終了・・・

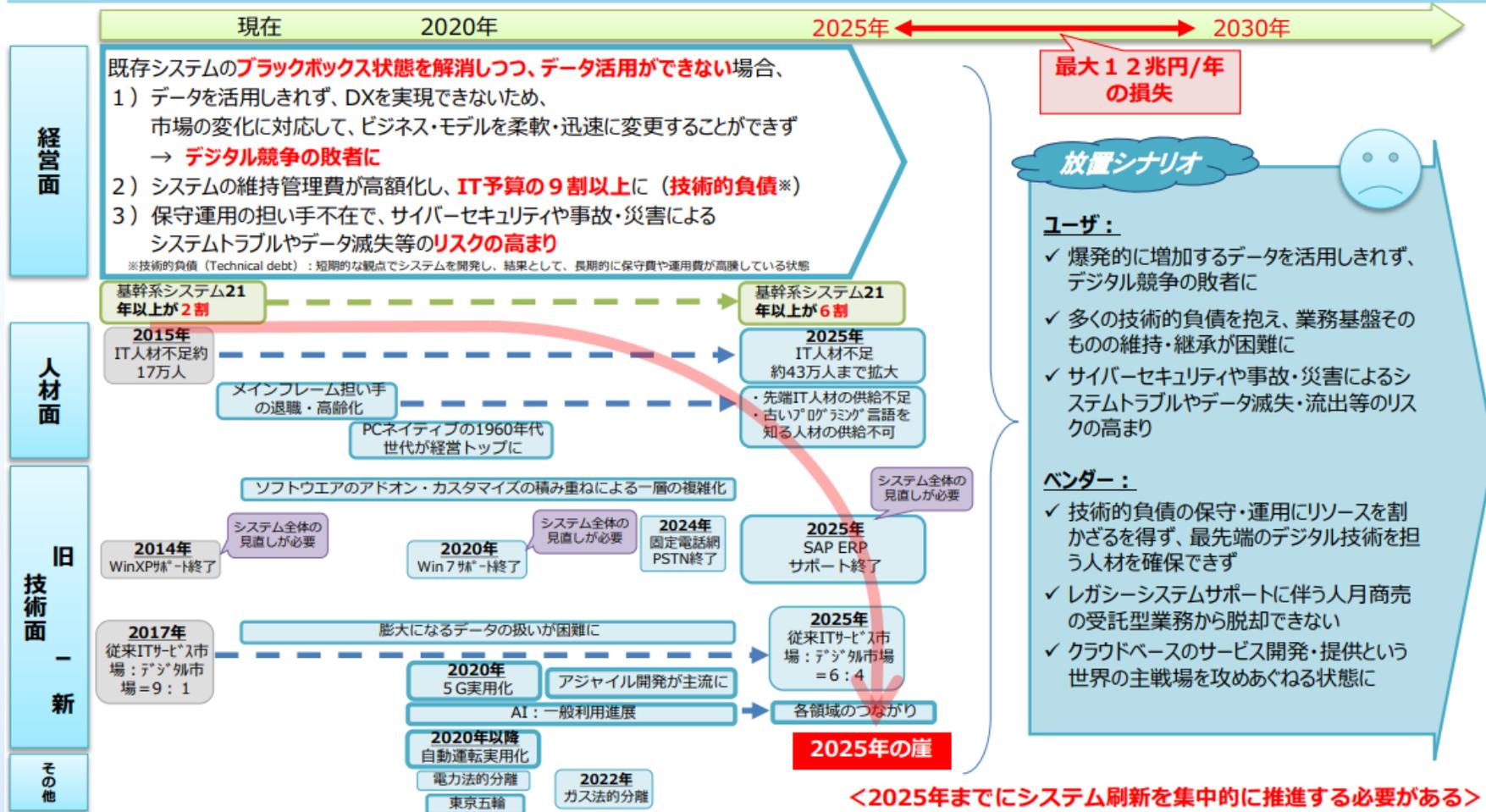
経産省では、DX化が進展しない最大の原因はIT企業側にあるとこのままでは、**年間なんと12兆円の経済損失が生じてしまう可能性のことを「2025年の崖」と呼んでいます。**

# 2025年の崖

多くの経営者が、将来の成長、競争力強化のために、新たなデジタル技術を活用して新たなビジネス・モデルを創出・柔軟に改変するデジタル・トランスフォーメーション(=DX)の必要性について理解しているが・・・

- ・ 既存システムが、事業部門ごとに構築されて、全社横断的なデータ活用ができなかったり、過剰なカスタマイズがなされているなどにより、複雑化・ブラックボックス化
- ・ 経営者がDXを望んでも、データ活用のために上記のような既存システムの問題を解決し、そのためには業務自体の見直しも求められる中(=経営改革そのもの)、現場サイドの抵抗も大きく、いかにこれを実行するかが課題となっている

→ この課題を克服できない場合、DXが実現できないのみでなく、2025年以降、最大12兆円/年(現在の約3倍)の経済損失が生じる可能性(2025年の崖)。



## 2.2.2 既存システムの問題点

【「レガシーシステム問題」の本質（仮説）】

システムのブラックボックス化がレガシー問題の本質

問題の本質1) 「自社システムの中身が、ブラックボックスになってしまった」

システムの全貌と機能の意義が分からない状態

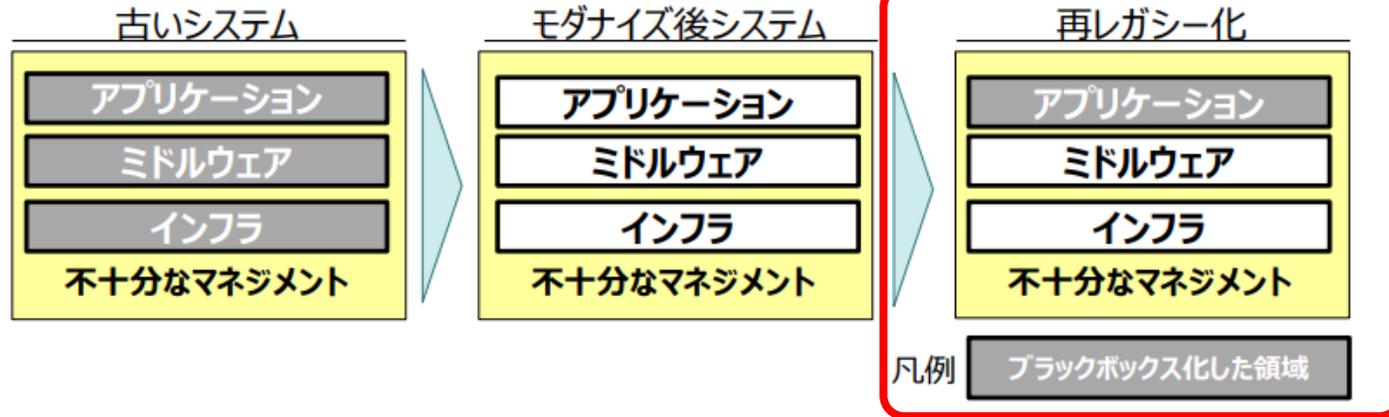
ブラックボックス化

技術の老朽化

システムの肥大化・複雑化

問題の本質2) 「不十分なマネジメントが、再びブラックボックスを引き起こす」

ブラックボックス化を招くマネジメントの問題



ここがポイント

既存システムのBB化

ここがポイント

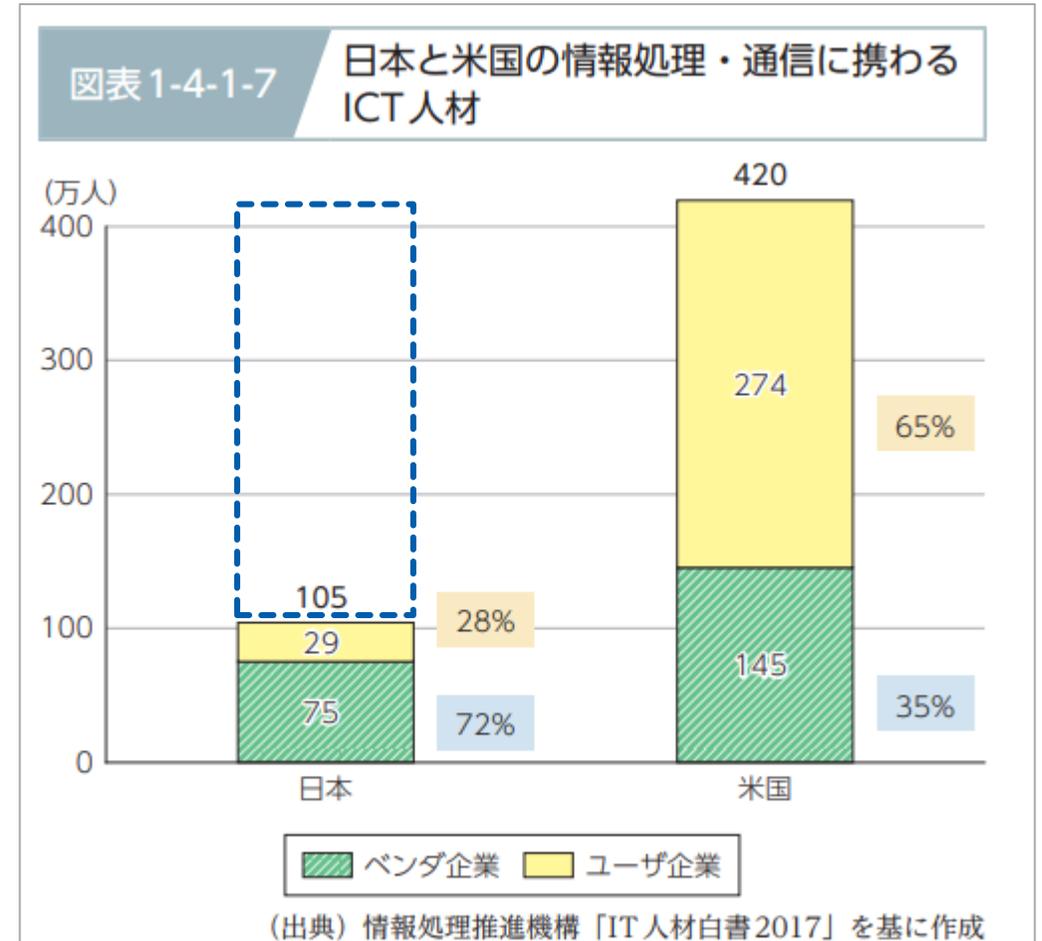
新規システムのBB化

(出典) DXに向けた研究会 一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会説明資料より

# DX先進国である米国との「人員構成比較」

通信白書2017によると、情報処理・通信に携わるICT人材は日本では105万人、米国では420万人であり、日本は72%がベンダ企業に属する一方、米国は65%がユーザ企業に属する。

我が国は雇用慣習の違いから人材の流動性が低い点は留意が必要であるものの、実数としては、このように違いがあり、このことも、「2025年の崖」にリアリティを持たせることになっています。つまり、人材の問題が大きく影響している。



## 2.2.3 既存システムの問題点の背景

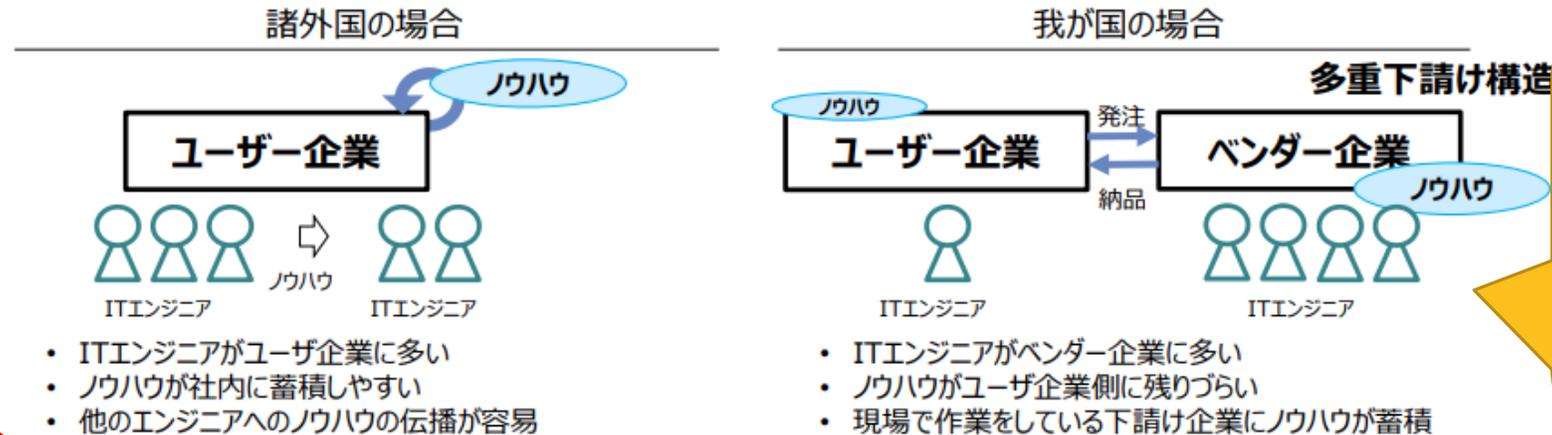
# 「ブラックボックス化」の背景

- ◆ 事業部ごとの最適化を優先し、全社最適に向けたデータ利活用が困難に

各事業の個別最適化を優先しシステムが複雑となり、企業全体での情報管理・データ管理が困難に。

- ◆ ユーザ企業とベンダー企業の関係がレガシー化の一因

我が国では、ユーザ企業よりもベンダー企業の方にITエンジニアの多くが所属している。



- ◆ 有識者の退職等によるノウハウの喪失

国内企業では、大規模なシステム開発を行ってきた人材の定年退職の時期(2007年)が過ぎ、人材に属していたノウハウが失われ、システムのブラックボックス化が進展している。

- ◆ 業務に合わせたスクラッチ開発多用によるブラックボックス化

国内にはスクラッチ開発や汎用パッケージでもカスタマイズを好むユーザ企業が多い。このため、個々のシステムに独自ノウハウが存在するようになってしまう。何らかの理由でこれが消失したときにブラックボックス化してしまう。

IT企画から、システム化までが自社のリソースを利用できるような状況ではないので、**自社内でのナレッジマネジメントに繋がらない**

**見える化と自社人材教育は訴求ポイントになるか？**

業務に合致した各種アプリを外注により開発し、運用保守まで委託してしまうため、その業務が取りやめになった場合、ブラックボックス化する。

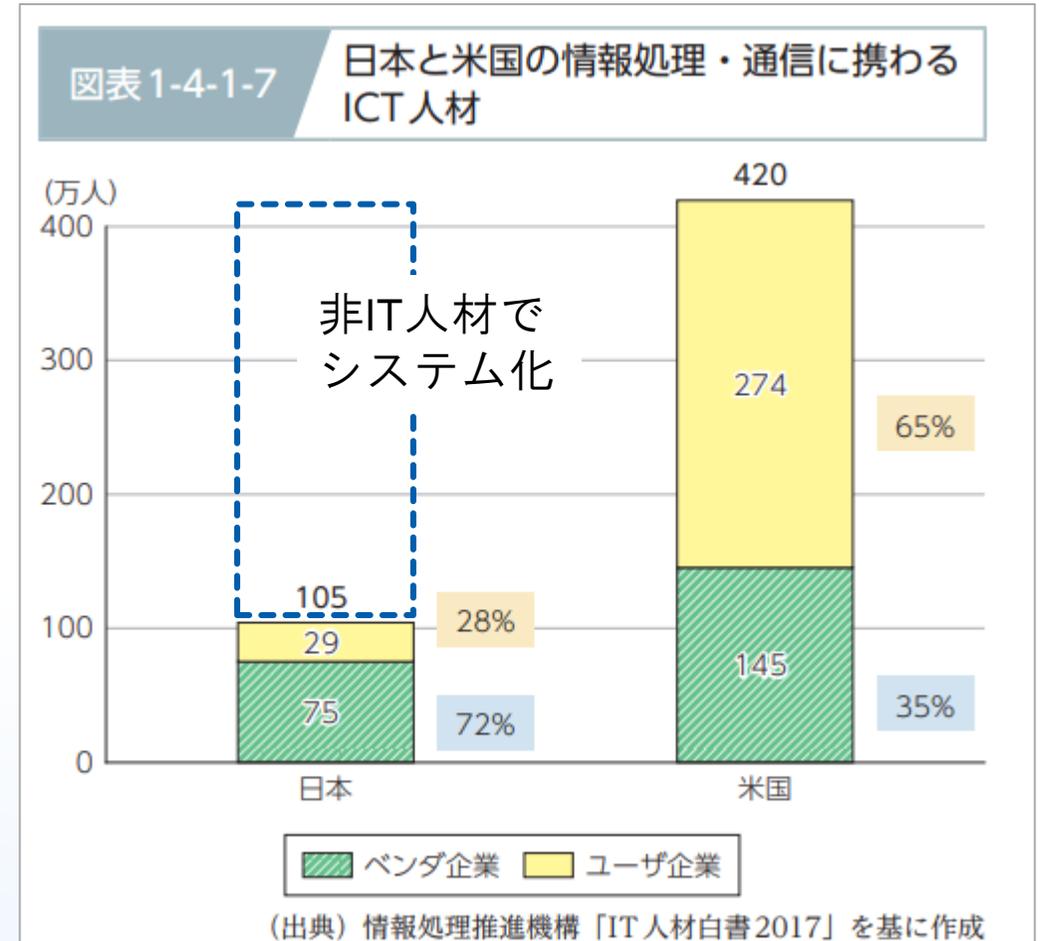
(出典) DXに向けた研究会 一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会説明資料を基に作成

# Cincomからの提言「DX化にはパッケージで対応する」

先述のグラフでもわかるように日本では企業内のIT要員が脆弱になっている。

そのため、日本でのDX化を進める上で、社内の人材でも導入可能なパッケージ製品を使い、「ブラックボックス化」しないような対応をする必要がある。

Cincom DXソリューションでは、このような導入背景を考慮して、高度なITスキルが無くても導入できる製品を提供しています。





# Cincom DX ソリューション

- Cincom CPQ
- Cincom ECM

# CPQソリューション説明資料

Cincom CPQ™ ご紹介 資料

=エキスパート業務自動化ソリューション=

# Cincom CPQの構造

- **Cincom Solution Configurator (GURU) :**  
ルールビルダーはビジネスルール管理システム (BRMS) であり、簡単にグラフィカルなルールエディタを使用して、ビジネスユーザが複雑な販売のしくみや製品知識を取込、複雑な意思決定や業務手順をプログラムレスでモデル化します。  
アプリケーションビルダーはルールビルダーで作成された業務ルールや製品構成ルールをコンパイル無しで即座にアプリケーション化します。
- **Cincom Document Generator :**  
GURUの結果や各種DBと連携して文書作成・管理をします。
- **Cincom Sales Portal :**  
CRM (顧客管理システム) の機能を実装したカスタマイズ可能なWebシステムで、Cincom GURUとシームレスに連携します。いまお使いのSFDCや各社のCRMを廉価にリプレイスすることが可能です。



<https://www.cincom.co.jp/products/cpq/>

# Cincom CPQ 導入先事例

## ✓ シーメンス社のニーズと課題:

- カスタム仕様の産業用モーターの提案書作成業務の自動化
  - パフォーマンス（モータ性能）データシートの作成
  - 新規設計部品などのCAD図面の作成
  - 製品構成決定プロセスの自動化
  - 見積書など書類作成
- 自社でのメンテナンスが可能なシステムの導入
  - 常に専門家を追い駆けなければならない状況の改善
- シーメンスとビジネスをする事が顧客（販売代理店等のパートナー企業）に**楽だと感じて頂く事**

## ✓ 導入効果:

- 提案書作成時間（パフォーマンスデータ含む）を約4~6週間から1時間以内へ大幅に削減
- 生産可能なすべての製品構成決定を正確に計算する見積・受注システムの実現
- 顧客（販売代理店）満足度の向上
- SiemensのERP（SAP）システムへBOM（部品表）を情報転写し、受注業務、生産指示の自動化
- 技術者が持っていた知識をAIで獲得・実装し、マスカスタマイゼーションの実現

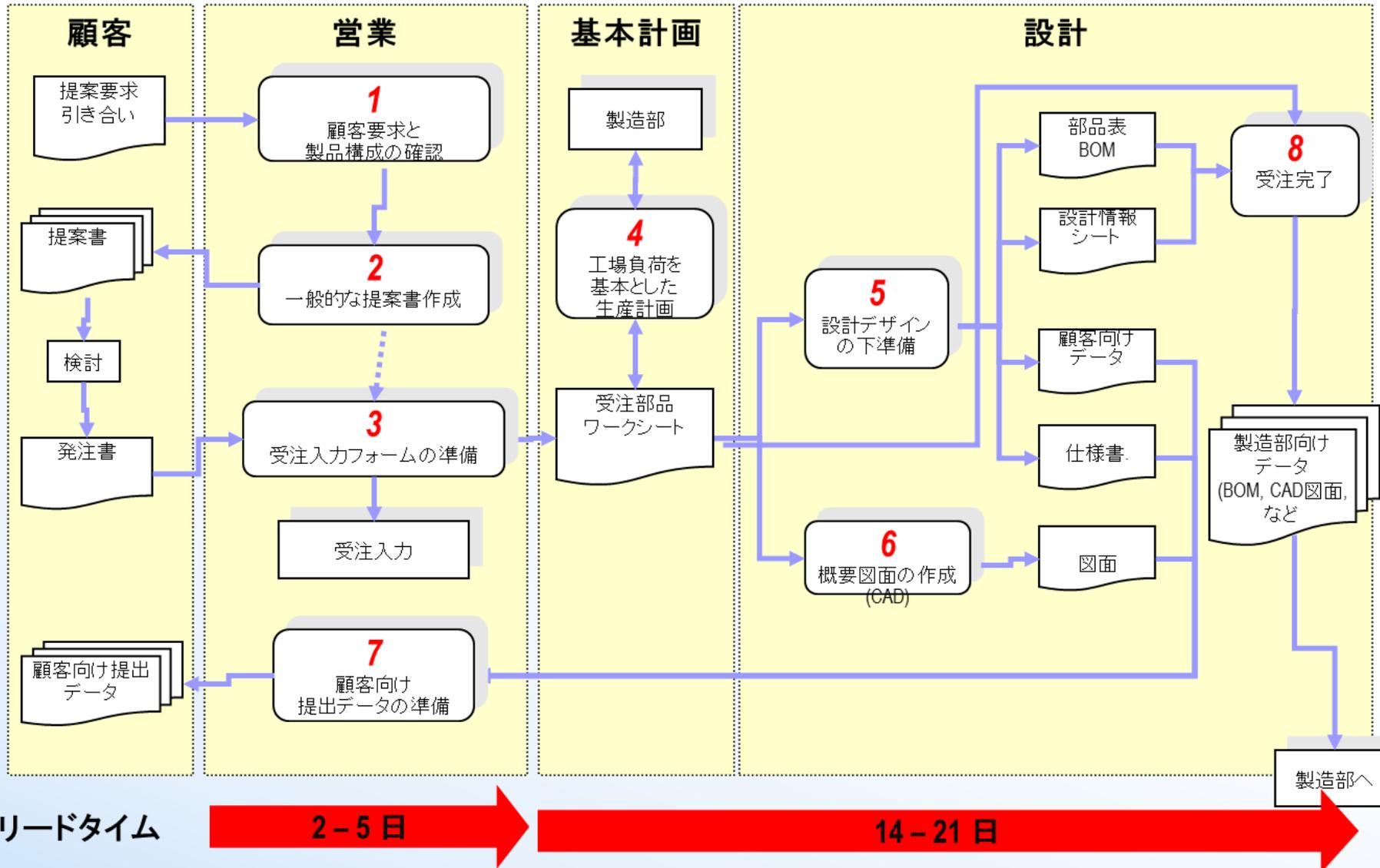


# SIEMENS

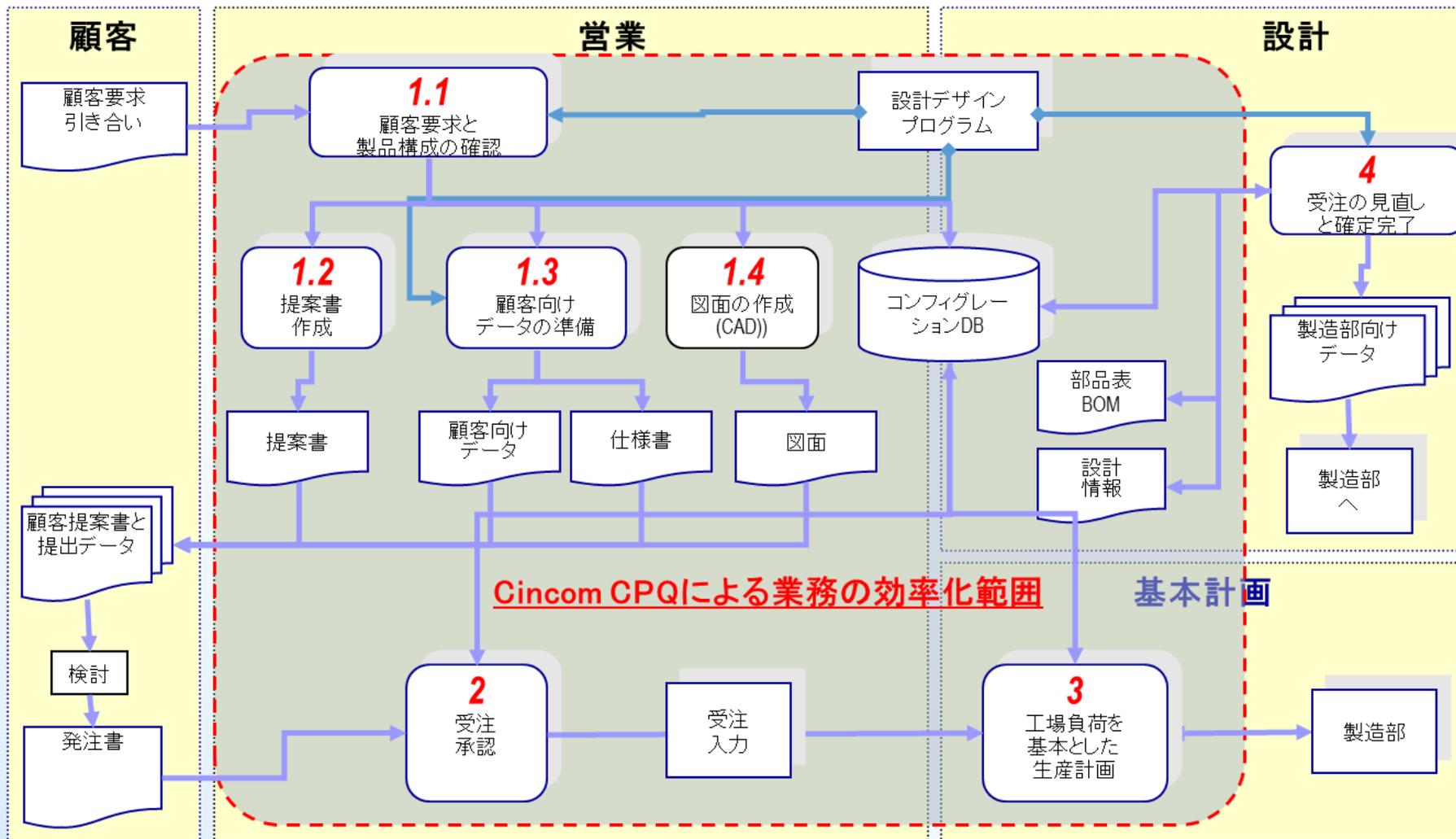
Siemens Energy and Automation  
製造業用モーターのリーディング企業



# シーメンス社の導入前の業務フロー図



# シーメンス社がCincom CPQ導入後の業務フロー図



リードタイム



見積書が30分くらいで出せて代理店の営業さんも満足



生産可能な部品構成で生産指示も自動化できた!



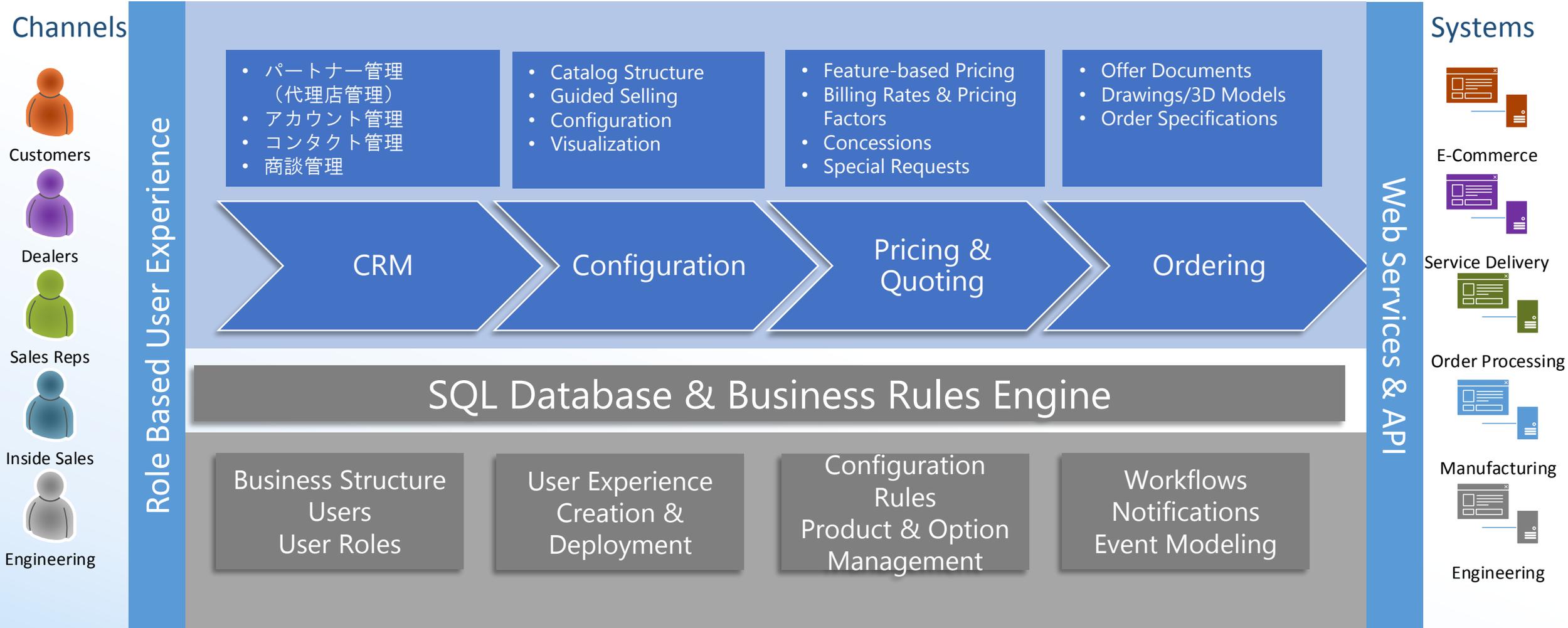
# Cincom CPQ 導入先企業の例

産業機器	精密技術	空調機器	特殊車両	サービス
      	     	    	      	       

# Cincom CPQ

## 機能詳細

# Cincom CRM/CPQ の機能概要図



# Cincom CPQ の各ソリューション説明



The image displays four screenshots of the Cincom CPQ system interface, each corresponding to a specific solution area:

- Guided Selling\*:** A screenshot showing a product catalog for Komatsu Wheel Loaders with a table of product details and a 'Buy' button.
- Solution Configuration:** A screenshot showing a configuration interface for a 'NEW KOMATSU WAJ200 FWHEEL LOADER' with various options and a 'Configure' button.
- Pricing & Quoting (価格・見積管理):** A screenshot showing a pricing and quoting interface with a table of product details and a 'Quote' button.
- Proposal Generation (文書管理):** A screenshot showing a proposal generation interface with a table of product details and a 'Generate' button.

Below the screenshots are four blue boxes containing text describing each solution area:

- Guided Selling\*:** 顧客要望、現場状況に基づいた顧客の言葉で操作できるICT環境
- Solution Configuration:** 製品構成、オプション、納期・在庫、製品画像
- Pricing & Quoting (価格・見積管理):** ホールセール、リテール、キャンペーン
- Proposal Generation (文書管理):** 見積書作成、提案書作成、信用状管理

- 製品構成とガイドドセリング管理（ガイド販売機能）（CSC）
- 提案書・見積書・注文書類管理（Cincom Proposal Generator : CPG）
- 顧客商談管理（いわゆるCRMと同様な機能を提供するもの : CSP）

# CSC –製品コンフィグレータとガイドドセリング

機能名称	機能説明
<b>ガイドドセリングの製品選択</b>	構造化されたニーズ分析と情報収集を通じて、営業マン、代理店、顧客を導き、必要とされる基本製品またはソリューションの迅速かつ正確な選択を可能にします。ガイドディングされたクロスセル/アップセルは、より高い受注率と利益率の確保を促進します。また、ガイドディングの際の情報（制限、ランキング、推奨など）は、顧客とのやりとりや販売の効率性を向上させるのに役立ちます。
<b>製品/サービスのコンフィグレータ</b>	単一製品、多数の製品、およびサービスの仕様選択を行います。製品やオプションの仕様選択は、ドロップダウンリストから行うことができます。また、特定の機能、オプション、範囲、を直感的に選択できる先進的な視覚的なテクニックを使いながらユーザをガイドし、顧客ニーズに“完全”に見合った仕様の選択へと導きます。
<b>動的な価格設定機能</b>	特定の価格ルールやコスト構造が組みこまれた製品オプション仕様は、動的に正しい価格、値引き価格、マージンなどを計算することができます。
<b>ダイナミック ビジュアライゼーション</b>	コンフィグレーション固有の静的または動的に生成されたレンダリングイメージ、2D図面*、および3Dモデル*などによって、コンフィグレーションされた製品が、顧客の期待するものであるかどうかの確認を視覚的にうたえる事ができます
<b>動的でデバイスに依存しない ユーザ・インターフェイス</b>	各種条件（ルール・デバイス・端末の使用環境など）と組み合わせたレスポンシブデザインを使用して、ユーザ・エクスペリエンス全体を特定のデバイス、ユーザ、ルール、言語などに合わせて調整します。
<b>インタラクティブモード バックグラウンドモード</b>	インタラクティブモードとバックグラウンドモードを使用すると、実行時エンジンを使用してリアルタイムのユーザダイアログと、非同期タスクの両方をサポートし、システムのユーザ・エクスペリエンス全体の応答性を最適化できます。

(\* SolidWorksなどのCADツールとの統合が必要です)

# CSC – アウトプット・ジェネレータ

機能名称	機能説明
<b>製造およびプロジェクト情報 ジェネレータ</b>	製造およびプロジェクト情報ジェネレータは、構成された製品またはサービスに関する詳細なデータを作成します。出力項目には、販売BOM、製造BOM/工程表、プロジェクトタスク、作業ブレイクダウン構造などの項目が含まれます。
<b>図面およびモデルジェネレータ</b>	図面およびモデルジェネレータは、コンフィグレーションの詳細とCAD図面のテンプレートまたはモデルを使用して、コンフィグレーションされた製品に関するエンジニアリング設計情報を作成します。出力には、寸法的に正しい構成固有の2D図面*および/または3Dモデル*を含めることができます。アウトプットは、オンラインのビジュアライゼーションや、提案書や提出物に含めるための使用ができます。製造のために、CNCファイル、材料リストなどの幅広い出力を3Dモデル*から生成して、製造業務の自動化を推進することも可能です。
<b>レンダリング（動的） イメージジェネレータ</b>	レンダリング（動的）イメージジェネレータは、パラメトリック・イメージ・レンダリング・システムとともにコンフィギュレーションの詳細を使用して、提案書、もしくはそれに付随する各種帳票で使用するためのコンフィギュレーション固有のイメージを自動的に生成します。
<b>カスタムジェネレータ</b>	カスタムジェネレータは、拡張可能なAPIを使用し、サードパーティのソフトウェアを活用して、コンフィギュレーション済みの製品またはサービスに関連するあらゆるタイプの出力を生成できます。例：ポンプやファンの性能曲線図、設備レイアウト図、各種レポートやファイル出力などです。

(\* SolidWorksなどのCADツールおよびそれら製品とのインターフェイス開発が必要です)

# CSC – ルール・ビルダ

Cincom CPQは、複雑な製品、システム、サービスを提供する企業向けにガイドドセリング、コンフィグレータ、見積/受注管理の機能を提供する「最善」のフロント・オフィス製品です。

CSCモデリング環境（ルール・ビルダ）はグラフィカルで、プログラマではないユーザによるルールメンテナンスを容易にするために設計されています。

ルール・ビルダは、単一の環境にガイドルール、意思決定ロジック、制約条件ルール、および演算機能を組み込んでいます。また、各種製品で共通化（使い回し）されている製品仕様やオプション組合せの条件などはモジュール化してマルチユースが可能なため、設計変更などによる仕様の一括変換が可能です。

CSCは独立したルールエンジンでルール・ビルダを構築しているため、オブジェクト、ベースクラス、ルールの定義は柔軟性が高く、事前定義されたオブジェクトやデータベーステーブル構造には制限がありません。



## CSCの優位性

- ・プログラムレス ⇒ プログラマーでなくてもルールの保守が可能
- ・モジュール化設計に対応 ⇒ 設計変更一括変換機能標準
- ・柔軟な独立したルールエンジン  
⇒ エクセル、DBなど多様なデータソースに対応

# CSC – ルール・ビルダ (OXOコンフィグレータ)

## 製品構成情報を取込む「専用エクセルシート」

また、CSCでは、仕様パターンを管理する専用のエクセルシート（スプレッドシート・データローダやOXOコンフィグレータ）をご用意しております。

エクセルシートで管理された製品構成データ（エンティティ）とルール（エンティティの組合せ情報）は変換ツールを介して、Cincom CPQにインポートすることができます。これにより、短時間でCPQのルール定義とアプリケーションのプロトタイプをご提供することが可能です。

Entity Name	Description	Is Required?	MultiSelect?	Page	Key	Values	Core	CU	Substrate
Flavour	Ice cream flavour	true	false	Ice Cream	Flavour1	Vanilla	1	0	
					Flavour2	Strawberry	0	0	
					Flavour3	Chocolate	0	0	
					Flavour4	Mint Choc Chip	0	0	
					Flavour5	Cookie Dough	0	0	
					Flavour6	Raspberry Ripple	0	0	
					Flavour7	Dairy Free Vanilla	0	0	
Toppings	Ice cream topping	false	true	Ice Cream	Topping1	Flake	1	0	
					Topping2	Sprinkles	0	0	
					Topping3	Fruit	0	0	
					Topping4	Whipped Cream	0	0	



## OXOコンフィグレータの優位性

製品、部品のマスターデータをエクセル表でご用意頂いておくと、そのデータを利用して、GURUのルールビルダー上に自動でルール（製品構成、組み合わせ条件、制約条件）を生成します。部品表マスターの管理者はエクセル表でのデータ管理も可能です。



# CSC – アプリケーション検証と展開ツール

CSCでは、モデルとアプリケーションの品質を保証し、開発から運用環境にスムーズに移行することが出来る環境を提供しています。サイト管理、アプリケーションのバージョン管理、テストケース管理、ユーザとロール管理、グラフィカル・ヘルスチェック分析などのツールは、作成した業務モデルの精度を公開前に検証し、ベストプラクティスを組み込むことを保証しています。ロールバック機能を備えた統合的な開発、品質保証、運用環境に業務モデル段階的に公開して、システムユーザに対して、無理なく、確実な業務モデルを利用したアプリケーションをスムーズに展開できるようにします。

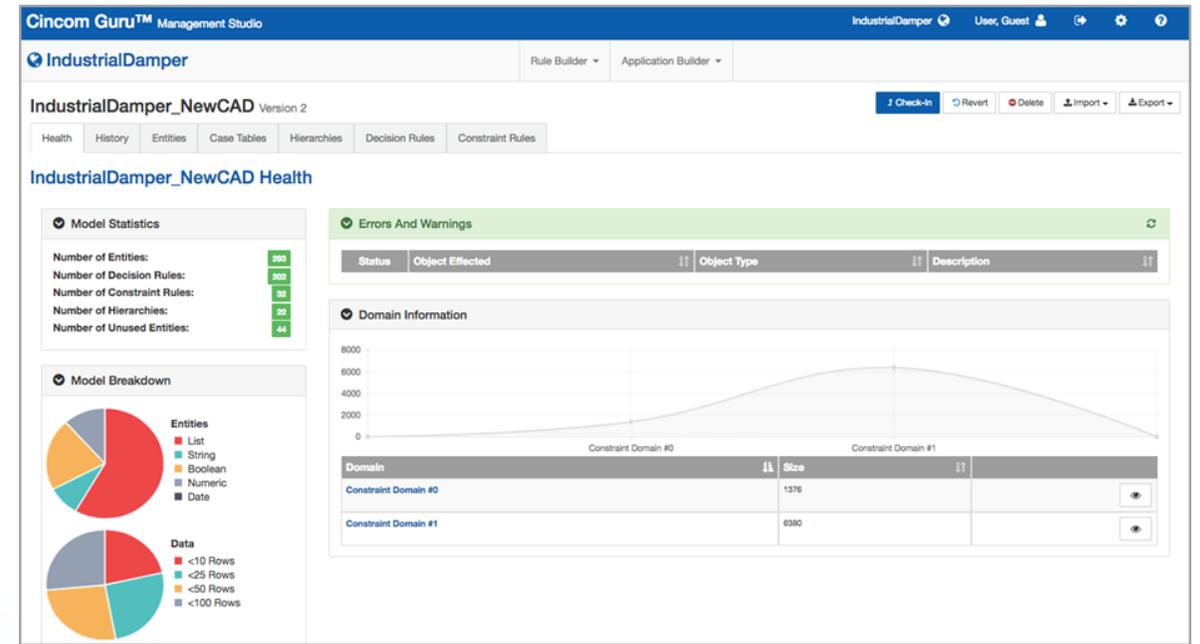
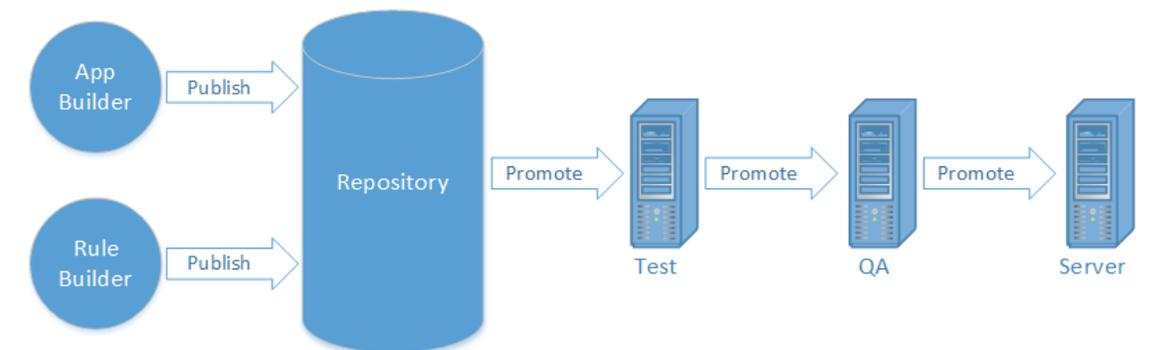


図: 公開とデプロイの概要



# CSC – オプション・マネージャ

CSC オプション・マネージャは、ルール・モデル以外の製品機能やオプションに関連するデータ、ポリシー、リソースを管理する機能を提供します。これにより、モデル管理を簡素化するとともに、IT担当では無い、業務部門のプロダクト・マネージャやマーケティング担当者などがオプション関連のデータをコンフィギュレータの外部で管理することが容易になります。

## ■ 対象情報：

製品説明テキストや翻訳情報、定価、製品分類、有効期間日付など

## ■ 関連付けアイテム：

画像データ、オプション仕様テキストデータ、ユーザに表示される、組み込み文書、ルールによって利用されるその他のアイテム情報などを追加することが可能です。

The screenshot displays the '製品オプション' (Product Option) management screen in the Cincom CPQ system. The main form includes fields for ID, name, description, status (currently '新規'), and owner. There are also fields for '発効日' (2018/07/15), '測量単位' (各), 'デフォルトの価格表', '通貨' (なし), '単位コスト', and '単価'. A dropdown menu is open, listing various related items with their counts: 'オプション・カテゴリー', '価格表アイテム (0)', '翻訳 (0)', '仕様書 (0)', '画像 (0)', 'リンク (0)', '注意事項&添付ファイル (0)', 'コスト詳細 (0)', and 'タスク (0)'. The interface also shows a '中止しました' (Cancelled) message and a '日付' (Date) field.

# CPG – 文書ジェネレータ

Cincom CPQ文書ジェネレータは、標準化されたドキュメント・テンプレートと動的に品目構成を組み合わせて見積書を作成し、その他（提案書、提出物、およびその他のタイプの社内外のドキュメントまたはドキュメント・パッケージ）の作成を自動化します。ドキュメントの配信は、自動化により配信時間の短縮が可能です。

多様な情報が含まれる提案書は、顧客が安心して購入を決定することが出来、必要な情報を迅速に提供することにより、より多くのビジネスを獲得します。「取引先レビュー（取引開始前）」などの社内の事前承認申請書類などは、ホールセール担当の自社営業マンやリテール担当の代理店営業マンが各々のマージンを把握し、SVMの観点から、それらを最適化するのに役立ちます。また、オーダー後にも、ステータス管理された文書を包括的に管理し、それらを必要な時に、必要な顧客に提供する事によって、これまで以上に顧客満足度を高めることが期待出来ます。

## ドキュメント・テンプレート管理

テンプレート管理機能は、自動化された文書生成のためのルールやプロセスフローだけでなく、標準的なドキュメントのコンテンツやフォーマットを開発するために必要なすべての機能を提供します。

- ドキュメント・テンプレートは、単純な見積書から完全な提案または提出パッケージまで、すべてのドキュメントの標準化されたフレームワークを提供します。Microsoft®Wordテンプレートには、定型句の紹介文章、ベスト・マーケティング・ワーズ、契約条件文言などの標準要素を組み込んで、完全性と一貫性を確保することができます。標準MSワードフィールドコードは、動的情報の配置を識別します。
- スターターテンプレートは、カバーレター、見積サマリ、コストサマリ、製品仕様書、販売請求書などの共通文書の作成を複数の言語で迅速に作成します。
- ドキュメント定義ツールは、マスタテンプレート、ドキュメントタイプおよびカテゴリ、ドキュメント階層、標準および条件付きセグメント、生成規則などの、すべてのタイプの標準ドキュメントを開発および維持するための堅牢な環境を提供します。
- 多言語機能は、グローバル展開をサポートします。

# 動的なドキュメント生成

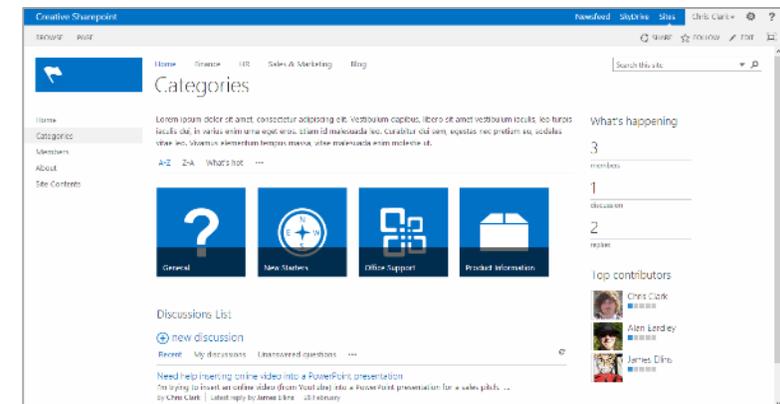
この機能は、標準テンプレートを動的に生成されたコンテンツおよび添付ファイルとマージして、カスタム・ドキュメントおよびドキュメント・パッケージを作成するプロセスを自動化します。

- 顧客情報、コンフィグレーションされた製品やサービス、価格設定、テキスト、図面、イメージなどのCPQおよび出力生成プロセス中に生成される動的コンテンツはすべて、包括的な成果物を提供するために文書に組み込むことができます。このプロセスを拡張して、ERPやCRMシステムなどの外部ソースからの情報を組み込むこともできます。
- 自動化されたドキュメントジェネレータは、標準のテンプレートを動的なコンテンツとマージして、最終的なMicrosoft WordまたはPDFドキュメントの作成に要する時間と労力を大幅に削減します。
- マーケティング用の販促資料や、見積もりに特化した特別な文書の添付ファイルは、提出書、またはその他の文書パッケージの生成を自動化する機能をさらに拡張します。添付ファイルには、Word、PDF、Excel®、またはその他のドキュメントタイプを含めることができます。

## 出カドキュメント・ハンドリング

出カドキュメントの自動処理は、生成された文書および文書パッケージを必要とする人やシステムに配信する処理を高速化します。

- 自動zipファイルの作成プロセスでは、複数のドキュメント類をひとつのファイルにまとめ、簡単に転送できます。
- 自動ドキュメントアップロードにより、出力したドキュメントをSharePoint®または、ECMなどの他のドキュメントリポジトリにすぐに送信できます。



# CSP – 提案管理と協働環境

Cincom Sales Portal (CSP) は、マルチ・セールス・チャネルのマルチ言語およびマルチ通貨のWebポータルで、社内営業所、代理店（ディーラー/ディストリビューター）、および顧客のセルフ・サービスのニーズをサポートします。

販売部門や代理店様には、SAPやInforなどのシステムへのアクセス権がないユーザもいるかと思いますが、CSPをスタンドアローンで使用する事によって、そのような方にも、必要に応じてSAPや Inforとインターフェイスをとることも可能です。また、販売/事業単位を単一のデータベース内のデータ区分をサポートする階層構造にすることができます。

CSPのガイドドセリング、製品コンフィグレーション、ルール・ベース・プライシングなどは、Cincom ソリューション・コンフィグレータ (CSC) と緊密に統合されています。異なる地理的販売チャネル、ブランドおよび/またはユーザ・ロールに関連する複数の異なるカタログビューを有する製品/オプションカタログを提供することができます。

CSPは標準ではない製品構成 = エンジニアリングの「特別要求」を可能にするための他部門や他社との協働型のワークフローもサポートしています。また、各営業拠点などで独自に調達しているローカル製品を電子カタログや見積情報として追加することもできます。

包括的で拡張可能なCincom CPQプロポーザルジェネレータ (CPG) は、CSPのコアコンポーネントとして提供されています。これは、自社製品の見積書と提案書（内部文書）を自動的に生成するために使用され、複数言語のテンプレートをサポートする機能を備えています。

## CSPの主な機能:

- 製品カタログ - 組織、ブランド、チャネル別
- 高度な価格設定 - チャネル、顧客、製品別
- 見積と注文管理 - リビジョン（版数）管理
- 柔軟な見積構造 - 主ラインと副ライン
- コラボレーションを実現する通知型のワークフローエンジン
- 価格承認ワークフロー
- 設計・仕様設定を伴う特別要求ワークフロー
- 各種設定用のテンプレートと見積書のテンプレート

# Cincom ECM 説明資料

シンコム・システムズ・ジャパン株式会社

平成31年2月23日

**企業向け情報資産管理システム**

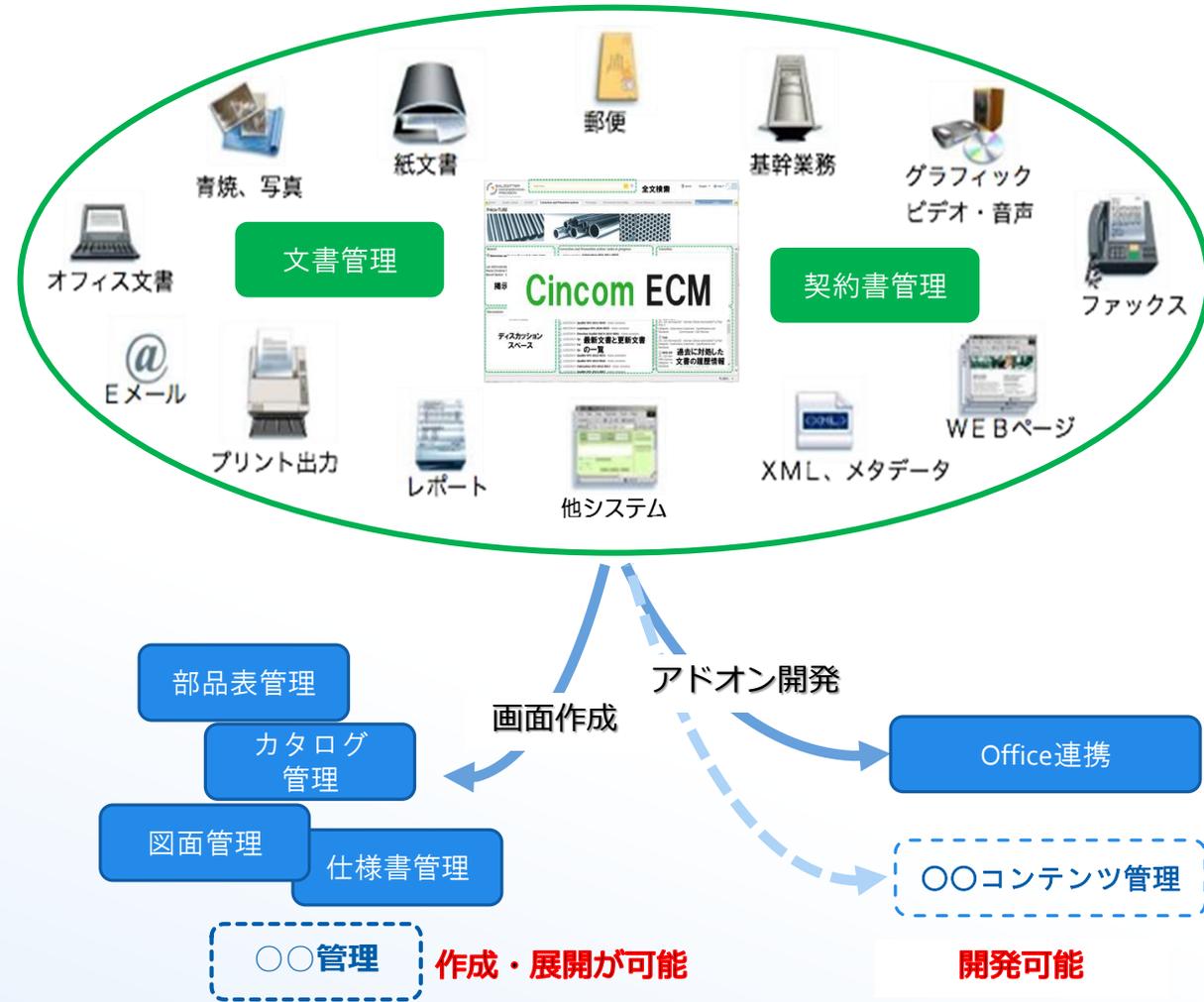
# 製品の特徴：「高度な標準機能」と「柔軟な拡張性」

標準機能対応 ■  
 カスタム対応 ■

Cincom ECMが対象とする「企業コンテンツ」は一般的には右図にあるように、企業内もしくは取引先などで作成された各種オフィス文書、図面、データ、ファイル、紙情報です。

多様な利用シーン（各種業務）に対応するため、GUIはカスタマイズが可能で、コンテンツの管理・配信にとどまらず、Office製品連携、部品表管理、製品カタログ管理、それらの承認ワークフローを提供することが可能です。

また、様々な言語での開発が可能のように、ECMで実装している機能をjavadocとして公開しているため、各種言語開発環境での画面開発や連携システム開発を可能としています。このため、サイロ型に構築されたシステムにあるコンテンツもシームレスに利用することが可能です。



# 機能要件とCincom ECMの対応

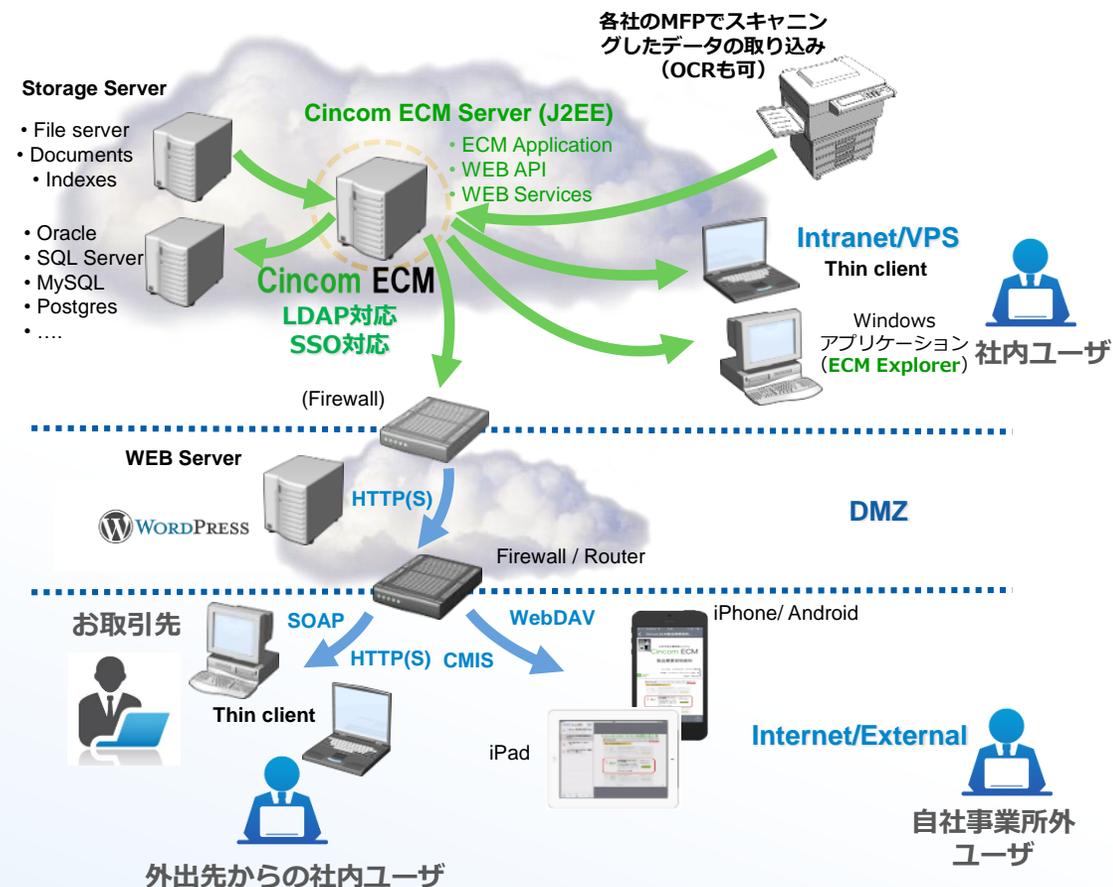
一般的な業務適用範囲は以下の項目になります。

- ① 各種業務ファイル管理
- ② 部品表管理
- ③ 図面管理
- ④ 商品カタログ管理

①～④については、Cincom ECMの基本機能だけで実際の業務に利用されている実績例として挙げております。POCで貴社が利用される場合でも、特殊な要件が無ければ、特に追加開発などを施すことなく、検証作業が行えると思います。その他、たくさんの応用事例がございますので、その都度、当社担当者や代理店担当者にお問い合わせください。

標準機能対応 ■ カスタム対応 ■

ファイル管理	契約書管理	図面管理	カタログ管理
部品表管理	カタログ版管理	図面管理	仕様書管理

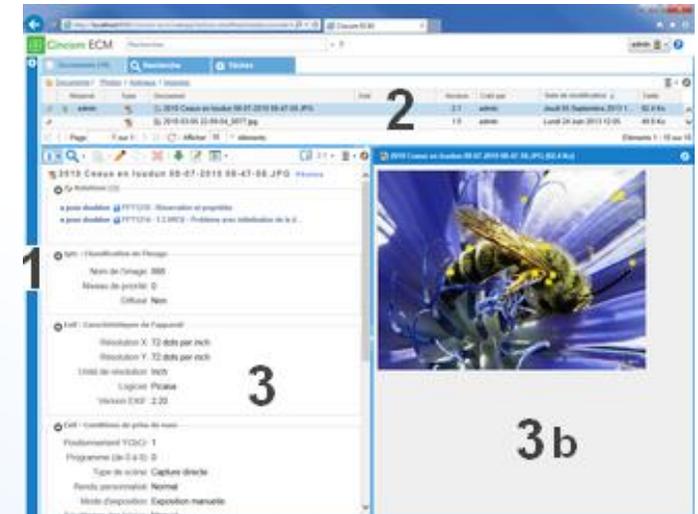
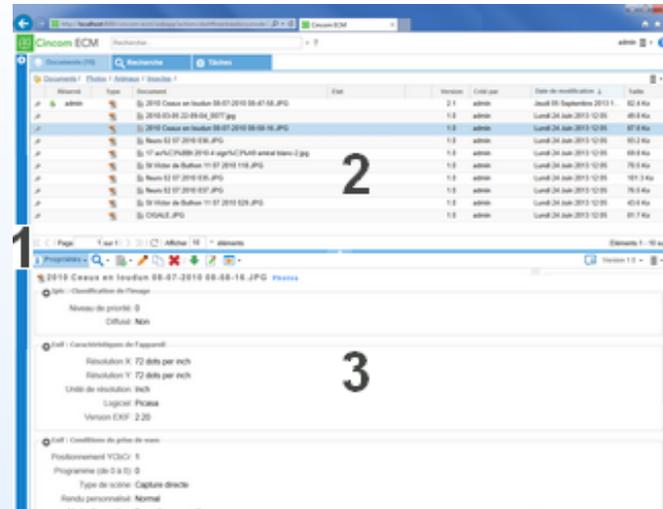
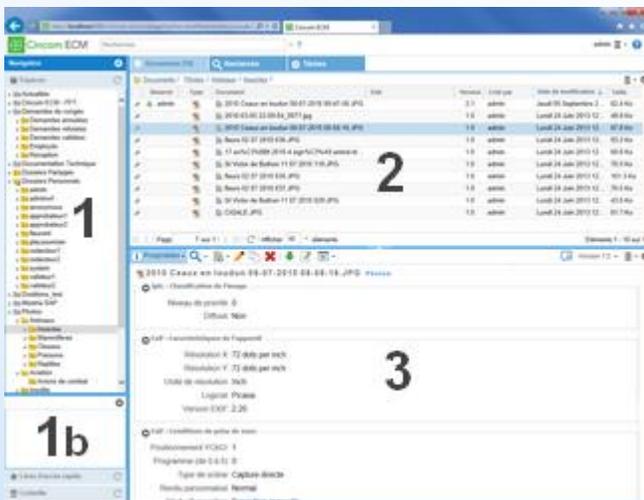


# Cincom ECMの柔軟性①

GUIは標準画面をご用意した上でカスタマイズ可能

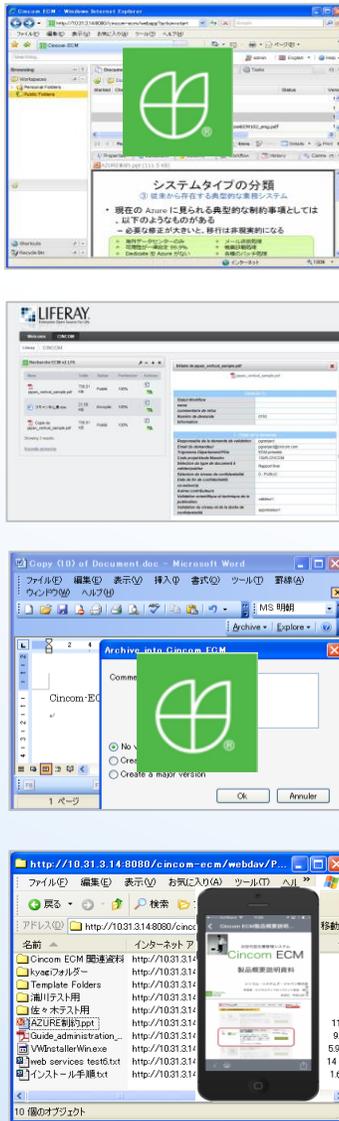
Cincom ECMの基本機能として、下図のような標準画面が用意されています。

また、業務内容（登録、参照、統計など）によって、画面を用意することができます。左図はその一例です。



# Cincom ECMの柔軟性② 外部連携開発

対応可能なユーザ・インターフェースの例



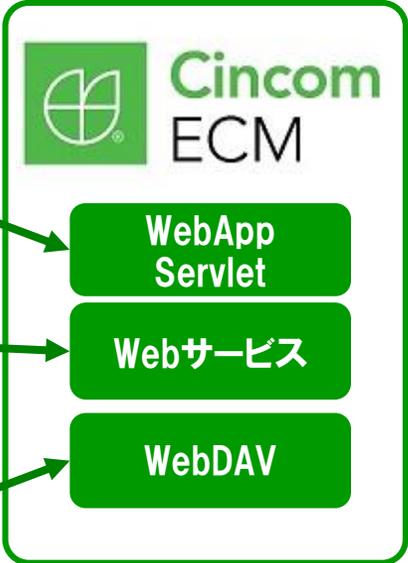
Internet Explorer  
Safari  
Chrome ect...

Web アプリ  
Desktop アプリ  
(Java/PHP/.Net...)

Office-Addin  
(保存先、送るメニュー)

WEBDAV Client  
(Windows Explorer, MS Office, etc.)

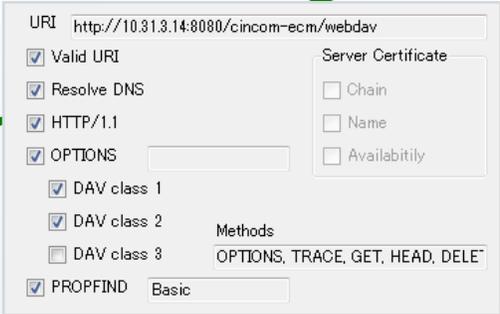
Web  
サービス  
API



HTTP/HTTPS

SOAP

RFC2518



# Cincom ECMの特徴

製品の特徴	概要
1) 業務システムや他製品との連携	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>既存業務システム連携</b> ECMの画面を経由しなくても、生産管理システムやプロジェクト管理ツールと連携。</li><li>・ <b>他製品連携例</b> スキャニングツール（Kofax）：スキャンしたドキュメントの特定位置の文字列にOCRを適用し、その文字列をメタデータとして利用。スキャンしたドキュメントは、そのまま利用可能。帳票ツール（JasperSoft）：ユーザごとのドキュメントのダウンロードやアクセス履歴のレポートを生成し、参照する仕組みを用意できる。</li><li>・ <b>専用インタフェースの提供</b> APIをベースにしたWebサービスや専用ウィジェットを用いて、ユーザやグループ別に特化した専用インタフェースを提供可能。</li></ul>
2) 柔軟かつ簡易なカテゴリの利用	コンテンツの種類ごとのカテゴリ設計がGUIのみで可能。たとえば、図面用、仕様書用、営業文書用などに分けて利用するメタデータの組み合わせを設定でき、各業務ごとに必要な情報を入力させたり、検索しやすくすることが可能。また、同じカテゴリであっても、ユーザやグループごとに見せる属性や編集する属性を事前に決めておくことが可能（外部ユーザには重要な属性は参照させない、などが可能）。
3) パワフルでシンプルな検索機能	全文検索、タグ検索、フィールド指定検索など、さまざまな検索方法を提供。また、検索条件は保存して、再利用が可能。全文検索の場合、検索されたワードは一覧で強調表示されるので、確認効率が良い。オプションで、検索文書のテキストを比較し差異を表示する機能も提供可能。 複雑なことも可能ではあるが、一般的にはインタフェースの上部にある検索ボックスに、検索用語を入れるだけというシンプルな検索手法で、ほとんどのユーザニーズは満たされる。
4) シンプルなワークフロー設定	業務要件に合わせたワークフローを複雑なコーディングを行うことなくグラフィカルに設定可能。ワークフローの途中終了や権限の移譲など、ワークフローを動的に設定することも可能。加えて、各ワークフローのステップごとに、通知メールを送付する機能も用意されている。 外部ユーザをワークフローに参加させる場合、参照されたくない属性（プロパティ項目）を非表示にして、セキュリティを確保することができる。
5) アクセス権管理とセキュリティの確保の仕組み	様々な認証方式を組み合わせる上で、アクセス権の管理をGUIで柔軟に行える。また、ユーザごとに、アクセス可能な期間を設定したり、ダウンロード数の多すぎるユーザを自動的にアクセスできなくするようなことも可能。またダウンロード用のPDFをパスワード付きで暗号化することにより、より安全な運用が可能。
6) コンテンツのアーカイブ化	コンテンツが多くなりすぎて、ユーザにとって運用や利用が面倒になる状況を避けるため、特定期間が過ぎたものは、アーカイブ化して、通常の検索では検索できないようにするような運用が可能。アーカイブ化されたものは、最終的にECMから外したり、また、必要に応じて戻すような運用が可能。クラウド利用も可。
7) 図面対応	オフィスドキュメントだけではなく、DXFファイルのプレビューを生成する機能

# Cincom ECMの基本機能

機能	機能の内容説明
1) タグ付けとタグ検索	●標準機能：タグ用登録、検索用のフィールドはユーザが任意にGUIにて設定可能
2) バージョン管理	●標準機能：メジャーバージョン、マイナーバージョン、変更無しなどを設定可能。変更時の版の自動更新が可能。バージョン履歴表示が可能。旧バージョンへの即時復旧が可能。検索対象は最新バージョンのみが対象。
3) チェックイン・チェックアウト	●標準機能
4) コンテンツ間の関連付け	●標準機能：関連付けしたい図面ファイル、仕様書などのファイル形式が異なるものでも一括で関連付けすることが可能。関連付けの形式は標準的なもの（参照、部品、旧バージョンなど）を自社用の名称に変更可能。
5) ログインユーザ（グループ）管理	●標準機能：ユーザ管理は既存のアクティブディレクトリやLDAPなどと混在させることも可能。
6) アクセス権管理	●標準機能：フォルダ単位またはファイル単位で、ユーザまたはグループごとの権限項目（参照、追加、変更、削除、管理、ワークフローキック）が設定可能。また、時限的にユーザのアクセスも制御可能（いつからいつまで開始、終了などを年月日で設定）Cincom ECMひとつで複数拠点権限別の複雑な管理が可能。
7) 文書プロパティ（メタ）情報	●標準機能：GUIで設計可能。
8) 文書内部の情報参照	●標準機能：全文検索用のさまざまなシンタックスが利用可能。オフィス文書のプレビュー機能。文中のキーワードを黄色く反転表示する。
9) 多言語対応	●標準機能：日本語／英語／フランス語／ポルトガル語／タイ語その他（要望に応じて拡張可能。なお、文書、コンテンツ自体は何語でも対応可能）
10) ワークフロー	●標準機能：手動または自動で予め設定されたフローと関連付けされたコンテンツで業務プロセスを動かすことが可能。例：企画書雛形ファイルや企画書フォルダを利用されると自動でワークフローが開始する。
11) ログ（監査）	●標準機能：ユーザがどのコンテンツに対して何（作成、移動、削除など）をやったかの利用状況ログの取得し表示。
12) コメント	●標準機能：コンテンツに関して各利用ユーザがコメントをつけることが可能。プロジェクトでの担当者のコメントがLINEのように表示される。また、ワークフローにおいても各担当者がそのアクション（検印、承認、棄却など）ごとにコメントを記録でき、その記録がワークフローのモニター画面に表示される。
13) 通知機能	●標準機能 ・変更管理（フォルダ単位で変更、読込、削除などを監視して受信登録先に通知する） ・検索通知（検索条件にあったコンテンツが登録されると登録者の画面に通知される）
14) ゴミ箱	●標準機能：各ユーザごとにゴミ箱があり、完全削除までは任意のフォルダに復旧が可能。また、削除期限は設定可能
15) WebDAV対応	●標準機能：Office製品などWebDAV連携可能なソフトウェアと通常のファイルサーバと同じようにアクセス可能。CMIS対応済み
16) ホームページ機能	●標準機能：ログイン時にユーザ全体に見せたい情報を組み込んだり、特定フォルダの変更状況をタイムラインとして表示することが可能。動的な機能は別途仕様打ち合わせと追加開発が必要。

# Cincom ECM 最近の事例 ①

【オープンイノベーション事例】  
コンテンツ管理からナレッジマネジメントへの展開  
導入先：横河電機株式会社  
導入事例：

当初、社内の技術情報管理システムやファイルサーバに点在していた技術情報をCincom ECMを「企業コンテンツ管理システム」として採用し、①検索しやすく、②再利用可能な技術情報としたことにより、オープンイノベーションを実現するためのナレッジマネジメントシステムとなった。利用部門も2013年に日本国内の技術部門だけであったものが、2016年以降から、世界各国での利用に伸展している。

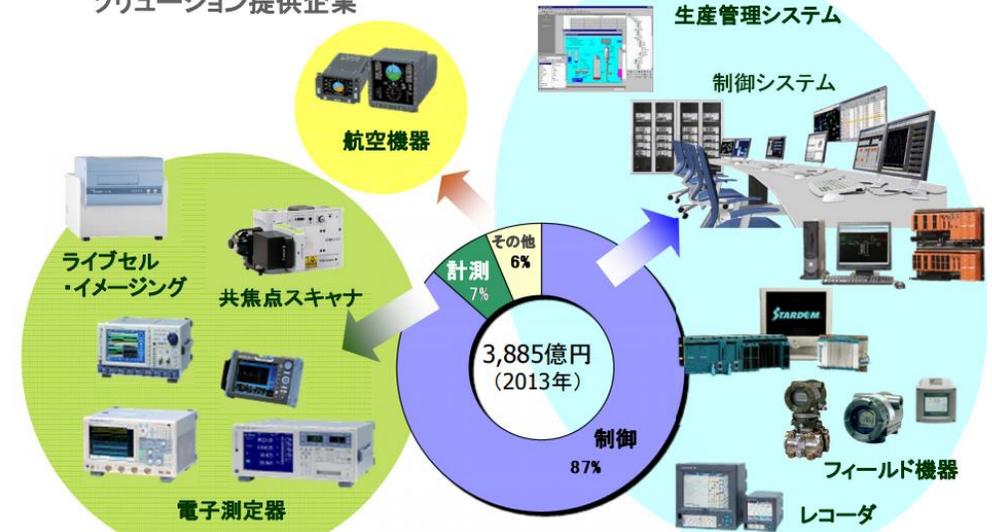
製品選定時に自社開発も含めて9社から選定作業を開始して、最終的にCincom ECMに決定した経緯がありました。

## 【横河電機株式会社様】

東京都武蔵野市に本社を置く、工業計器・プロセス制御専門メーカー。計測・制御機器メーカーとしては国内最大手、世界第3位。横河電機グループの事業持株会社としての機能も有する。芙蓉グループに所属。

### 横河電機の事業分野

横河電機は計測・制御・情報をコアとして世界に展開するソリューション提供企業



横河電機株式会社 オープンイノベーション  
Copyright © by Yokogawa Electric Corporation  
2015.1.26

グローバル戦略フォーラム2015

- 4 -

YOKOGAWA

# Cincom ECM 最近の事例 ①-画面例

YOKOGAWA  
Current System

Repository Server  
By Cincom ECM

Properties	
Name	G001aIndcOfAlandAlrm_ED
Alias	Indication of Analog Input :
Comment	GES0001A: The value of the
Creation Date	3/20/2015 3:48:11 AM
Last Modified	4/10/2015 11:38:53 AM
Last Modified User	HIS1666\GPEC
Major Version	0
Minor Version	13
Version Upgrade	Minor
System Revision	R1.01.00 164
Global	<input checked="" type="checkbox"/>
Global ID	97691DDD-5446-4E10-A6C
Global Module Comment	PVI(1)
Secured	<input type="checkbox"/>
Global Major Version	0
Global Minor Version	0
Version Comment	Creating a first release

Input Attribute - Internet Explorer

## YOKOGAWA Input Attribute

**Content Type \*** Module **Global ID** 97691ddd-5446-4e10-a6c1-b61ade67c44f \*:required item

**Name** G001aIndcOfAlandAlrm\_EDU0006.modx **Display Name \*** Indication of Analog Input and Alarm

**Description \*** GES0001A: The value of the process variable is received from the field via FCS analog input module. The analog input is indicated on HIS using faceplate/Graphics/Trend using the PVI function block.

**Comment** PVI(1)

**System Revision** R1.01.00

**Module Type \*** CM

**Industry \*** Common **Localization** English

**Category \*** Indication and Alarm **Process \*** Sample Module

**End User**  **Contractor**

**Project Name**

**Subsystem** CENTUM VP R6.01.10 English

**User Limitation**  **License Name**  **Intellectual Property Name**   Public  Private

**Customer Name**  **Contractor Name**  **Affiliate Name**

**Open Library**  Enabled  Disabled

**Content Version \*** 0.0  Major Version Up  Minor Version Up

**Version Comment \*** Creating a first release

**In Charge Name** Hajime.Edakubo **User Affiliate** YHQ

**Workflow Group \***

**Checker \***

**Approver \***

OK CANCEL

# Cincom ECM 最近の事例 ②

## 【表彰・受賞事例】

### 「デジタルトランスフォーメーション賞」受賞

受賞先：INTERPOL：国際刑事警察機構

#### 受賞理由：

近年日本でも話題になっている「DX：デジタルトランスフォーメーション」を実現したITプロジェクトの受賞事例のご紹介です。

文書の同組織の加盟国が発行する重要な文書のデジタルトランスフォーメーション化（完全にデジタル化を実現した）をシンコム社のCincom ECMにより実現したことなどがその受賞理由。2013年にプロジェクトが開始し、本年、さらにシステム利用ユーザ追加している。

#### 【利用機能の例と利用目的】

- ・ 複雑なワークフロー対応
- ・ 多言語対応
- ・ 法務文書管理で採用を開始

(2016年4月13日 プレスリリース)



インターポールの担当者（中央）とシンコム社員

## 【INTERPOL：国際刑事警察機構様】

国際刑事警察機構（International Criminal Police Organization 略称：ICPO）は、国際犯罪の防止を目的として世界各国の警察機関により組織された国際組織である。日本国内では頭文字「ICPO」の略称で呼ばれることが多い。

近年、本部のあるフランスでのテロ活動などの影響もあり、機構内における文書管理に対するセキュリティも一段と厳しくなっている。日常的にコンピュータを多用している業務では特に電子文書の管理と安全性が重要になっている。



INTERPOL



# Cincom DX Solutions

A next generation content management solution  
for collaborative creation.

**シンコム・システムズ・ジャパン株式会社**

**<http://www.cincom.co.jp/>**

**03-4530-9731 (営業部)**